

1－（14）激化する国際コンベンション誘致競争を勝ち抜く ための国立京都国際会館施設の拡充・整備促進

（財務省・国土交通省）

国立京都国際会館は、昭和41年に我が国最初の国際会議場として設置されて以来、数多くの国際会議の成功を支えるとともに、世界有数の歴史都市・京都に存在する国立国際会議場として、日本文化の世界への発信に大きく貢献してきた、まさに我が国の国際コンベンション誘致戦略において欠かせない施設であります。

しかしながら、近年、国際会議の規模の大型化・形態の多様化の傾向が顕著であり、会議の開催に当たっては、大型会議場、ワーキングスペース及び展示・広報等のスペースを備えた多目的な施設であることが求められておりますが、開館から40年を経た現在、当会館の施設規模及び機能は、十分であるとは言えない状況にあります。

東アジアをはじめ世界各国では、こうした会議の大型化・多様化に対応できる施設が整備されており、日本が激化する国際コンベンション誘致競争を勝ち抜き、より強力に大規模な国際会議を誘致できるよう、日本文化を世界に発信する拠点として最もふさわしい都市・京都にある国立京都国際会館施設の拡充・整備を要望します。

要望事項

我が国を代表する国際会議場である国立京都国際会館において、より大規模な国際会議の誘致、開催を可能とする、4,000人規模の大型会議場や展示場として活用できる多目的ホールの整備

主な要望先：財務省（理財局国有財産業務課）

国土交通省（大臣官房官庁営繕部計画課）

京都市の担当課：総務局 総務部 総務課長 辻智之 TEL 075-222-3043

産業観光局 観光部 観光振興課長 上田誠 TEL 075-222-4133

産業観光局 観光部 観光振興課 国際事業担当課長 柿沼宏明 TEL 075-222-4133

<参考>

1 施設整備計画（会議場施設）の概要

構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階 地下1階
 建築面積 6,266㎡
 延べ床面積 11,354㎡
 主な施設 多目的ホール（大型会議場（最大約4,000名収容）、展示場（2,800㎡）、
 中型会議場（約600名×2室））
 総事業費 13,891百万円
 予 定 地 現駐車場用地
 完成予定 平成24年度

2 国立京都国際会館の概要

所 在 地 京都市左京区宝ヶ池
 構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造
 規 模 敷地面積 156,096㎡ 延べ床面積 46,743㎡
 開 館 昭和41年5月21日
 主な施設 (1) 会議場 約3,500名（大会議場1,840名）
 (2) 展示場 3,000㎡

3 国別国際コンベンションの開催件数順位

国 名	2003年	2004年	2005年	2006年
アメリカ	1位	1位	1位	1位
フランス	2位	2位	2位	2位
ドイツ	3位	3位	3位	3位
イギリス	5位	4位	4位	4位
中国	20位	11位	11位	14位
カナダ	14位	13位	12位	13位
韓国	32位	17位	14位	16位
シンガポール	23位	20位	15位	10位
日本	12位	14位	17位	18位

（出典 独立行政法人国際観光振興機構（JNTO）コンベンション統計2006）

4 国内外の主要な国際会議場の状況

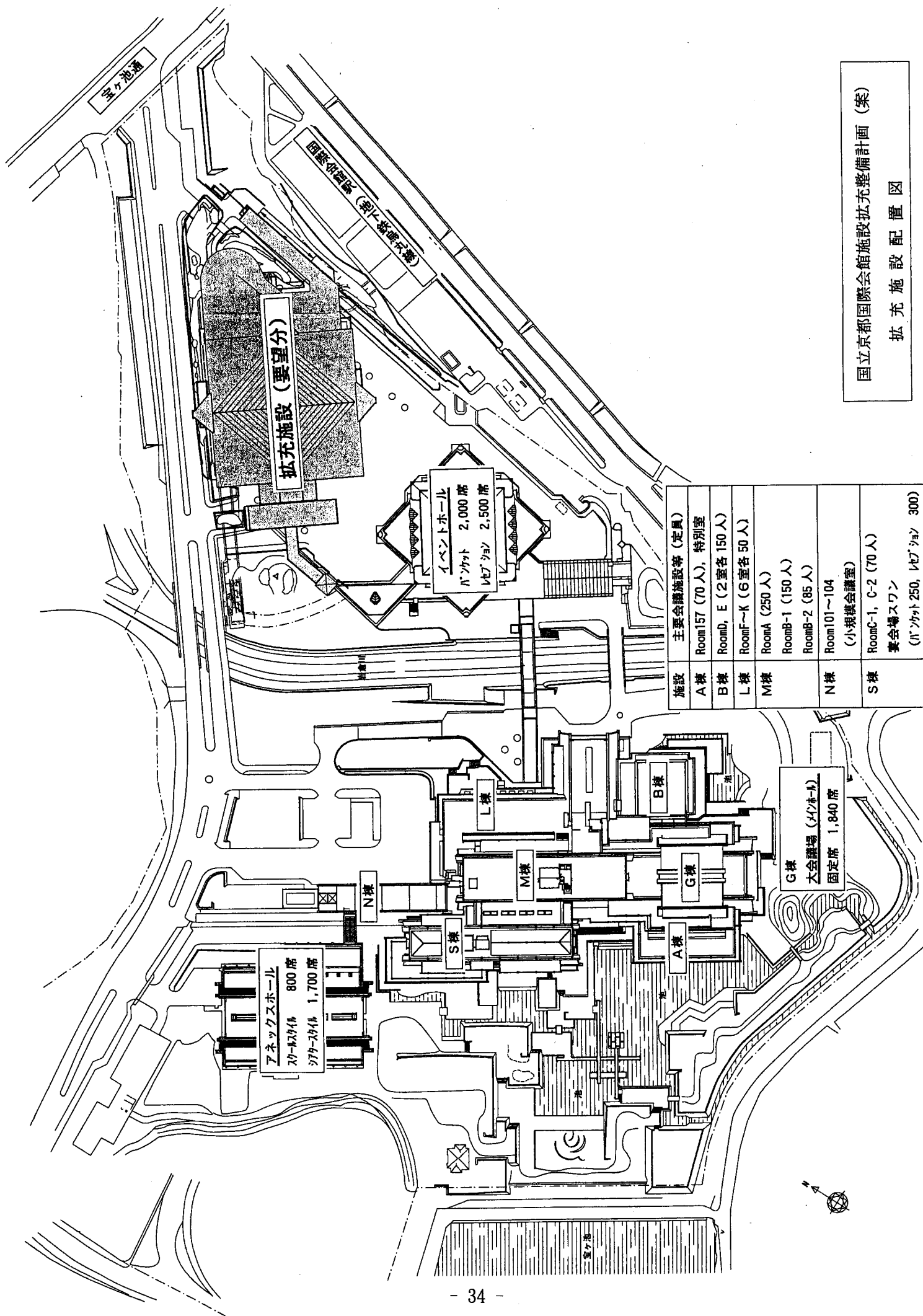
国名	会議場名	大会議場収容人数
日本	国立京都国際会館	1,840名
日本	国立横浜会議場（パシフィコ横浜）	5,000名
日本	東京国際フォーラム	5,000名
日本	大阪国際会議場	2,754名
アメリカ	ワシントン州立会議センター	7,500名
イギリス	アールズコートアンドオリンピア	22,000名
カナダ	モントリオール会議センター	4,000名
ドイツ	ベルリン国際会議センター	5,008名
フランス	パリ国際会議場	3,700名
シンガポール	シンガポール国際会議・展示場	10,000名
中国	ホンコン会議・展示センター	8,400名
韓国	チェジュ国際会議センター	3,500名
オーストラリア	メルボルン展示・会議センター	5,000名

5 国立京都国際会館で開催された主な国際会議（平成19年）

会 議 名	参 加 者 数
第17回アジア太平洋肝臓学会議	2,500名
第40回アジア開発銀行年次総会	3,000名
第23回京都賞授賞式・記念講演会・記念ワーク ショップ	3,820名
第3回秋季国際食品素材/添加物展/会議	9,333名

6 国立京都国際会館のスペース不足により、開催が見送られた会議の事例

年度	国際会議名	要請スペース	開催地
平成11年度	ロータリー1999年国際大会	15,000人程度の会議スペース	シンガポール
平成14年度	国際感染症学会	3,000人程度の会議スペース 4,000m ² の展示場 10の分科会会場	シンガポール
平成14年度	第14回世界心臓学会議	5,000人規模の会議スペース 1,000人収容のホール（3箇所） 100～200人収容の会場（10箇所）	オーストラリア



国立京都国際会館施設拡充整備計画 (案)

拡充施設配置図